令和 6年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	環境と共生する脱炭素社会の実現		課(室)名	道路管理課
	施策	循環型社会の形成		電話番号	087-839-2515
	取組方針	環境意識の醸成		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	たかまつマイロード事業			

【事業全体概要】

事業概要	市道において、自発的意思のもとに、清掃等の維持管理を行う自治会などの市が認定した道路愛護団体（認定団体）に対し、用具の支給、ごみの収集、傷害保険の加入などの支援を行うことにより、環境保全活動を推進するとともに、道路への愛護意識の高揚を図る。			
年度概要	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意思のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集などを支援する。			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	たかまつマイロード実施要領

【事業の目的】

対象（何を）	市道
意図（どのような状態にしたいか）	道路の環境美化、道路利用者のマナー向上が図れる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
用具の支給等支援回数	回	0	0	133	131	132

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		清掃延長	km	目標値 実績値	0 0	0 0	141.2 144.547	141.3
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和6年度は、3団体が増加したことにより、団体数は133となり、清掃延長は144.5kmとなった。			(目標達成度) 102.4%	(得点) 35点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)	(得点)			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	3,218	3,157	3,433	3,418
(事業費)	[千円]	2,021	1,953	2,198	2,183
(職員人件費)	[千円]	1,197	1,204	1,235	1,235

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意思のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集・傷害保険の加入などを支援する。	消耗品費 1,525千円	特定財源	総額	2,198
		工事費 670千円		国	0
		計 2,195千円		県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,198	
令和 7 年度	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意思のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集などを支援する。	消耗品費 1,517千円	特定財源	総額	2,183
		工事費 666千円		国	0
		計 2,183千円		県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	2,183	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和6年度は3団体が増加したことから団体数は133となり、清掃延長は144.547kmとなった。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

高齢化に伴う認定団体の減少が懸念されるが、引き続き、たかまつマイロードの活動を支援する事業を継続していく。